

## 令和2年度第1回狭山市立図書館協議会会議録

- 開催日時 令和2年7月29日(水)  
午前10時～午前10時45分
- 開催場所 中央図書館 視聴覚室
- 出席者 横田保太郎会長  
伊藤真理子委員 今福裕美子委員  
齋藤裕美委員 中島憲昭委員  
指田良恵委員 五百旗頭洋子委員  
佐伯哲雄委員
- 欠席者 阿久澤忠委員 長谷川明彦委員
- 事務局 向野教育長 金子生涯学習部長  
(中央図書館) 小池館長 加藤主幹 平沢主幹  
(狭山台図書館) 吉田館長  
(教育指導課) 新井指導主事
- 傍聴者 なし

- 協議事項 (1) 令和元年度事業報告について  
(2) 令和2年度事業計画について  
(3) 狭山台図書館の指定管理者の選定について  
(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止策の影響

### 会議の経過

1. 開会
2. あいさつ

### 3. 事務局異動者紹介（金子部長、新井指導主事）

### 4. 議事

- (1) 令和元年度事業報告について
- (2) 令和2年度事業計画について
- ((1)、(2)を一括審議)

事務局        まず、新型コロナウイルス（以下、「コロナ」と略す）の影響で3月に開催できなかった令和元年度第2回図書館協議会について、各委員から寄せられた意見を報告した。

                  意見の内容は以下の通り。

                  コロナの影響で臨時休館している臨時休館中に予約本の貸出をしてはどうかという意見。予約本の貸出を行ったので、実施した日程などは後の議題の中で述べる。

                  事業計画の中に位置づけられる利用マナーの啓発について、職員の館内巡回による声掛けを、という意見。コロナ対策下での図書館の利用ルールの周知となるため、極力接触を減らしながらできる範囲で対応していく。

                  3階入口のアピール性が弱いのではという意見。今後の課題とさせていただきます。

                  その他、図書館業務へのねぎらいや激励などもいただいた。

                  次に、令和元年度事業についてまずは中央図書館から主な点を報告した。

                  コロナ感染防止対策で中止になったもののほかについては、順調に実施された。国立国会図書館のレファレンスデータベース事業で、狭山市立図書館のレファレンス登録事例数が多かったので、礼状をいただいた。

                  令和2年度事業計画についてはコロナ禍の工夫として、小中学生向けのおすすめ本をセットにしたお楽しみパック事業を追加した。感染症のリスク回避として職場体験の受け入れは、見合わせている。なお、図書館見学の受け入れについては学校と十分調整の上、感染対策を講じながら対応していきたいと考えている。

                  狭山台図書館からは、事業はほぼ実施できたが、2～3月はコロナの影響で中止せざるを得ない状況だったことを報告した。

1月に実施した「ブックサロン」(図書の展示を行う企画)ではテーマをサッカーと設定し、スポーツ振興課に仲介してもらい地元の女子サッカーチーム「ちふれ AS エルフェン埼玉」からユニフォームと横断幕を借り受けて展示し、チームのアピールも併せて行った。

2月1日には、「風呂敷の魅力再発見~包むを学ぼう」という講座を開催した。開催後に、レジ袋の有料化やコロナの影響で再度風呂敷が注目されていることを知ったので、後付けだが、有意義な講座だったと考えている。

令和2年度事業計画については地元の埼玉石心会病院と提携し、健康講座を行う予定だったが、コロナの影響で中止となった。医療機関の情報発信サイトについて図書館で紹介するなど、関係は継続している。コロナ終息後には講座の再検討を行い、地域に貢献できる形で図書館が活用されるよう努めていく。

委員 お楽しみパックについて詳しく説明いただきたい。

事務局 コロナの影響で図書館を休館しなければならなくなった。こんな時だからこそ子どもに本を届けたいので、何らかの形で本が貸し出せる状況になった時、なるべく短時間で貸出できるよう、小学校低学年・中学年・高学年および中学生向けに5冊ずつのパックにした。予約資料の貸出ができる状況になったので、1パックずつの予約が入れられるように設定し、貸出を行った。その後一時期予約資料の貸出もできなくなってしまったが、再開できる状況になったとき同様の形で、パックを増設し、貸出を行った。予約資料の貸出だけでなく館内での貸出が始まってからも、パックがなくなるまで貸出を続けた。

令和元年度(3月)は、総数で20パック(100冊)の貸出、令和2年度(4月~6月)は総数で172パック(860冊)、合計で960冊の貸出となった。

パックの内容については、読み応えのあるもの、「さやまの100冊」から選んだもの、その他に例えば科学絵本など様々なジャンルを取り混ぜて選書した。

### (3) 狭山台図書館の指定管理者の選定について

事務局 現在、狭山台図書館は指定管理で運営を行っているが、令和2年度末で契約期間が満了することから、改めて、令和3年度から5年間の指定管理者の募集を行うもの。指定管理者の選定については、狭山市

の「公の施設の指定管理者の指定手続等に関する事務マニュアル（平成30年4月改訂）」及び生涯学習部の「公の施設の指定管理者選定委員会設置要綱」等に従い進めている。本日は選定事務の流れと進捗状況について報告する。

4月から6月までは庁内関係各課との調整や会議を実施し、募集要項等を定めた。7月10日広報さやまに募集記事を掲載したほか、同日からホームページでも募集を開始している。また、7月27日には狭山台図書館現地で説明会・見学会を実施した。応募の受付は8月26日とし、10月下旬に候補者を選定、令和2年第4回定例市議会において議案として上程する予定。

委員長 先程の議題にもあったが、中央図書館・狭山台図書館それぞれ趣向を凝らして事業に取り組んでいる。狭山台図書館は指定管理者としての取り組みも事業の中に見受けられると思う。

（質疑無し）

#### （4）新型コロナウイルス感染症拡大防止策の影響

事務局 臨時休館は令和2年3月2日から6月3日まで、ただし、例年の蔵書点検に伴う特別整理期間（2月末に狭山台図書館、3月初めに中央図書館）を含む。

3月3日は予約資料の受け渡しを行った。また、2月末以降のイベントを中止させていただいた。

予約本の受け渡し期間。1回目は令和2年3月24日から令和2年4月16日まで（狭山台は3月25日から）。2回目は令和2年5月26日からで現在に至っている。

段階的開館について、令和2年6月4日から令和2年6月30日は開館時間10時から16時。予約本の受け渡しに加え、2階、3階への入館を可として書架から直接の本を選んでの貸出し、返却を開始。館内利用30分以内。狭山台図書館も同様の時間と内容。

令和2年7月1日からは中央図書館の開館時間は10時から16時、水・金・曜日は19時まで、狭山台図書館は10時から19時までと夜間開館を開始。

中央図書館4階の郷土参考資料室、ブラウジングコーナー、3階学習室の利用を開始。館内利用60分以内とした。

7月15日からは中央図書館の閉館時間は17時、水・金・曜日は2

0時まで。狭山台図書館は10時から20時まで。館内利用（滞在）を120分以内とした。

また、配布資料の「狭山市立図書館における新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」を作成し、業務にあたっている。

拡大防止対策の主な内容としては、マスク着用・手指消毒・飛沫防止用ビニールシート（防炎のためやや見通しが良くない）をカウンターに設置・閲覧席などの座席数を減らす、など。感染の状況を見ながら、制限を強化、あるいは緩和するなど適宜状況に合わせて対応していく必要があると考えている。

委員 本の消毒について、本の殺菌ができる機器を導入する計画はあるか。

事務局 現在の対応状況としては、返却された資料を一晩待機させてから、配架して利用できるようにしている。殺菌できる機器について、コロナに有効との報告は無いようだが、引き続き情報収集して検討していきたいと考える。

委員 コロナ禍において、利用者が図書館に来館するのが、難しくなることもあると考える。個人所有のスマホやパソコンで本の予約をする機会が多くなると考える。図書館のコンピュータシステムはよくなっていると思うが、一層の改良工夫でより使いやすくなると思う。利用者の立場に立って、操作が単純で短時間でできるようなシステムが利用者へのサービスの一つと考える。

情報難民という言葉があるが、情報を獲得しにくい市民が増えないようにしなければならないと思う。コンピュータシステムに頼る機会が増えると思うが、図書館として現時点での考えを聞きたい。

事務局 今回のコロナにより、スマホなどからの予約も増えてきている。利用者からのシステムの操作の問い合わせにも対応しているが、利用者向けに操作方法を教える機会を検討するなど、情報が手に入りやすい状況を作る工夫はしていきたいと考えている。

利用者からの問い合わせを受ける中で、システムが分かりにくいと感じられる部分については、システムベンダーに伝えていきたい。ただし、現在のシステムは狭山市独自のものではなく他の自治体も利用しているものなので、他の自治体でも同じようなニーズが出てくるとベンダーでの改修優先項目の上位にのぼる可能性がある。他の自治体とも情報共有しながら研究していきたい。

平成31年1月にシステム更新を行い、検索速度が上がったことも含めて以前のものより利用しやすくなっていると思う。今後も分かりやすく使いやすいものにできればと思うので、お気づきの点があれば、図書館をご利用の際にでもご指摘いただきたい。

事務局 狭山市独自のシステムだと改良・カスタマイズがしやすいが、他の市町村も利用するパッケージシステムのため、各自治体がニーズを、ベンダーとの協議の中で要望として伝え、徐々に向上できればと考えている。

委員 システムの改良のための予算措置について、大きな金額がかかると思うが、狭山市だけの予算ではなく、他の市町村との共同の予算措置をとるのか。

事務局 現在、5年間の長期継続契約となっている。その予算の中で各市町村が必要な改修を行うことになると考えられるが、自分の市だけの独自の機能をもたせたシステムを作るということは、時代的にも難しいと思われる。

## 5. 閉会

委員長から各委員に向けて、館内のコロナ感染防止策などの様子をご覧いただくと良いのではないかと、との意見があった。